

音楽会「特別時間割」1週間が経過

体育館ステージ練習の開始から1週間が過ぎました。子どもたちの取組の一端をご紹介します。

【1年生】はじめての小学校音楽会に向けて意欲満々の皆さんです。数曲メドレーによる合唱奏をご披露します。明るく生き生きとした歌声がとてもすてきです。合奏も鍵盤ハーモニカを中心に、いろいろな楽器も加わって、リズムカルな曲に仕上がってきました。入学から短い期間でしたが、ここまで楽しみながらも一生懸命音楽の学習に取り組んできたことが伝わる演奏です。かわいらしい元気なステージが楽しみです。



【2年生】『ザ・きらきら星』は、いろいろなリズムの「きらきら星」演奏に挑戦しています。ジャズ風にアレンジされたフレーズは2年生にはとても難しいと思われるかもしれませんが、リズムにのれてきて、とてもかっこいいです。『にじ』の歌唱では、堂々

とした独唱も含まれています。2年生らしさ満載のステージをお楽しみに。

【3年生】のびのびとした歌声の響きがわくわくさせてくれます。そして、

学級の総合活動として取り組み始めた太鼓演奏がまた楽しみです。

「聖太鼓」の先生に教えていただくために何回か出かけていましたが、太鼓が体育館に運び込まれたのは特別時間割の開始後です。太鼓を使わないリズム打ちを教室で何度も繰り返してきた成果なのでしょう。息が合った太鼓演奏になりつつあります。



【4年生】『Tomorrow』を無伴奏で歌う練習風景に出会いました。音程が下



がることもなく、うわずることもなく、部分二部で歌う箇所では、重なった歌声が美しく響いて、歌い終えたときに、先生方が思わず感嘆の声をもらしたことが

印象的でした。本番もア・カペラで演奏してもよいのではないかと思えるほどです。頭声の美しい響きに期待しています。『宇宙戦艦ヤマト』の心をそ

ろえた力強い演奏も楽しみです

【5年生】『情熱大陸』のスピード感ある指使いに挑んできた子どもたち。ここまでの、休み時間を使ったり楽器を持ち帰ったりしての熱心な練習態度に感心させられてきました。合唱『少年の日は今』も一人ひとりが人まかせにせず、しっかり歌いこんでいます。高学年らしい歌声の厚みもさすがです。高音の響きと重なるアルトの響きに魅力いっぱい聴かせてもらえます。



【6年生】小学校生活最後の音楽会に寄せる想いが伝わってくる合唱『COSMOS』が仕上がりつつあります。かまずにアルトパートを響かせて、二部の歌声が美しく響くように歌い込んでいます。「さすが」の歌声に期待できます。『剣の舞』の合奏は、「この曲はバレエの曲なんだから、もっと軽く舞

うように」という中島先生の励ましを受けて、軽やかにスピード感ある演奏を目指して懸命に取り組んでいます。

【金管バンド】高音の響きと正確な低音の響きにささえられて、今年度はさらに「きれ」のある演奏に高まってきています。ここまでの積み重ねがものを言っています。校歌（マーチング Ver）は、50周年記念にふさわしい愛校心高まる演奏です。軽快なアメリカンパトロールとともに、2曲の新曲披露も含めて日々高まってきている演奏にどうぞご期待ください。



子どもたちは音楽にどっぷり浸かりたっぷり取り組む2週間を過ごしています。わたしは今年度、特に高学年の皆さんの歌声の響きに感動しています。歌声づくりは日々の積み重ねがあってこそです。担任の先生の日々のはたらきかけはもちろんのこと、中島先生を中心にした音楽系の先生、伴奏で支えてくださる先生すべてのお支えと、何よりも子どもたちの「歌声を高めよう」という意識なくしては実現できないことです。そして、低学年からの「歌うことが楽しい・気持ちいい」という経験があってこそです。つまり、学校全体が「音楽に向かう気持ち」「歌声を高める意欲」がなければ高まってこないということだと思ふのです。「音楽が苦手」と感じる子があってもよいし、当たり前だと思ふます。でも、そんな気持ちを受け入れて支え合い、ともに育つことができる環境が麻績小学校にあると思ふのです。そのことを、心からありがたく想い、感謝の気持ちでいっぱいになります。